□スフェンはてんかんの発作があります。私はてんかんについて、まったく知らなかった / はじめて知った /

はじめは、 と思いました。

□私はスフェン / パーケルのことが、すこし共感できます / なんとなくわかります / 好きになれません。

なぜなら だからです。

□私は登場人物の中で、〇〇〇〇〇が 共感できました / 好きになりました / 自分に似ているなと思いました。

なぜなら だからです。

□もし私がスフェンのように、てんかんの発作があったなら

と 感じました / 思いました。

□もし私のクラスにスフェンのように、てんかんの発作を持つ子がいたら、

と 感じました / 考えました。

□私は一番 好きな / ドキドキした / ひきこまれた / おどろいた / 心に残った / ワクワクした 場面は

です。

なぜなら だからです。

□私がスフェン / パーケル の 行動 / 考え方 / 言ったこと で一番 びっくりした / おどろいた / 悲しくなった

理解できない / 感動した / 深く考えさせられた 場面は、

です。

スフェン / パーケル の というところが、

私には 理解できなかった / 共感できた / 新鮮に感じました / グッときた / 物語に引き込まれました。

□【自分の力ではどうしようもない問題に直面した出来事・自力では解決がむずかしかった経験】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /

どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。

そのこと / 経験から、（どんな対処をしたらいいか / 物ごとに対しての考え方 / 少しでも改善できるような方法 /

最後まであきらめずに努力したこと / 冷静に物ごとを考えることの大切さ / 長い目で見て成長すること）

だと思いました / ということを学びました。

なぜなら、 だからです。

□スフェンと介助犬のアラスカの新しい関係 / 生活 / 活動 / 可能性 を知って、

と思うようになりました / だったらいいなと思いました。

□パーケルと彼女の家族の問題（強盗やお父さんのこと）も、

と思いました / と感じました。

□もし、スフェンとパーケルが介助犬のアラスカの存在を通して、仲良くなる / お互いが協力し合う /

本当の気持ちを伝える / 人を頼るという / 困難な現実を受け入れる　ことがなかったら、

だったのではないかと想像しました / だったと思います。

□スフェンとパーケルにとって、この 出会い / 出来事 / 体験 / 経験 は、

だと 思いました / 感じました。

□この物語を読み終えて、スフェンのようなてんかんの発作をもつ / 常に不安がある / ハンディがある　人は、

と感じました。

もし身近にハンディキャップのある人がいたら、

だと、あらためて / 強く / 心から / 深く / 具体的に　考え / 思い / 認識し / 理解し ました。

□この本を読むまで、ハンディキャップのある人について、あまり考えたことがなかった / よく知らなかった /

身近に感じたことがなかった / 自分と重ねて考えたことがなかった / 重要だと思ったことがなかった けれど、

これからは　だと考え / 思いました。

□私はこの物語を読んで、お互いを理解すること / 自分のできる範囲で何ができるか考えること / 助けを求め

られたときに協力できる心の準備をしておくこと / 自分にも何かできると信じること　は、大切 / 必要 / 重要

だと思いました。なぜなら　だからです。

□この物語の中心にあるアラスカは、スフェン / パーケル / 多くの人に 影響 / きっかけ / 力 を与えたと思います。

もしアラスカが 介助犬としてスフェンを助けなかったら / パーケルの最愛の存在でなかったら

なのではないかと思いました / 考えました。

□いつの日か、私もスフェン / パーケルのように　本当に信頼できる友だちをみつける / 自分の可能性を

あきらめないで持ちつづけること / 自分自身でいることのむずかしさを考える　ことで、誰かを助けられる /

まわりの人が応援したくなるような人間になる / 毎日を充実して楽しめる / 仲間として受け入れられる

ようになりたいと思いました。